

書籍仕入れご担当者 様【ジャンル/農業・観光・諸芸】

農山漁村滞在型旅行を楽しむ
ための入門書です。

FAX: 092-726-9886

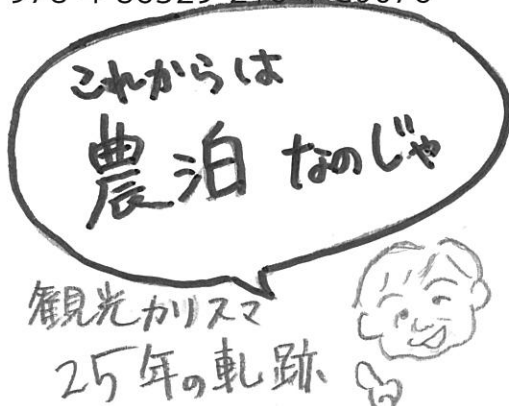
農泊のススメ

【11月下旬刊】

宮田静一 定価1700円+税 46判・240頁 ISBN 978-4-86329-216-1 C0076

ヨーロッパのように
長い休暇を楽しむために
仕事を頑張る社会にしませんか

農村を救うことは、都市のくらしを健全にすることでもある。ドイツ、フランスをはじめヨーロッパではいまや常識となっている長期休暇法(バカンス法=ILO132号条約)を前提とした「農泊」は、都市と農村の密接な交流から生まれたもの。「豊かな農村での休暇を楽しむために働いている」といってもよい。



観光カリスマ
25年の軌跡

本書は、農業、環境、教育、観光、村落共同体という5つの問題を、「グリーンツーリズム」「農泊」をキーワードに描いた、25年以上におよぶ実践録である。

※「農泊」=農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験と農村地域の人々との交流を楽しみ、多様な宿泊手段によりその土地の魅力を味わってもらう農山漁村滞在型旅行

※「グリーンツーリズム」=農山漁村に滞在し農漁業体験を楽しみ、地域の人々との交流を図る余暇活動のこと

◆目次から◆

- I ドイツ・アッカレンを目差して
農泊はじまりのエピソード
法律の壁を越えた3・28事件
- II 農村に泊まるということ
心のせんたくへようこそ
楽しく、思い出深い農泊
- III 都市と農村を救うバカンス法へ挑む
- IV 農泊の極意(農泊を始める方へ)
安心院グリーンツーリズムの足跡
農泊に関連した用語一覧

著者の横顔 宮田静一(みやた・せいいち) 1949年、大分県宇佐市生まれ。日本獣医畜産大学卒業。安心院町の国営パイロット事業で3ヘクタールのぶどう農園を経営。国土交通省観光カリスマ百選「農村民泊さきがけのカリスマ」として選定される。NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会会長。NPO 法人大分県グリーンツーリズム研究会会長。未来ある村 日本農泊連合代表。著書に『しあわせ農泊 ～安心院グリーンツーリズム物語～』(西日本新聞社、2010年)。

安心院町グリーンツーリズム研究会 1993年にアグリツーリズム研究会として発足し、改称したのち現在に至る。会長は宮田静一氏。広報部、企画開発部、農泊部などで構成し、それぞれで情報発信、イベントの企画、農泊受け入れ家庭の支援や世話などを行っている。

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 取扱品 書店・帖合	冊	<h2>農泊のススメ</h2> 国交省観光カリスマ 宮田静一	定価 1700円+税 ISBN 978-4-86329-216-3
	冊	<h2>田んぼは野鳥の楽園だ</h2> 大田眞也	定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-083-9
	冊	<h2>米旅・麺旅のベトナム</h2> 木村聡	定価 1800円+税 ISBN 978-4-86329-193-5
ご担当者様	ご注文日 様 [/]	弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com